

# 大津に鉄道がやってきた頃

JR大津駅周辺は、実は鉄道史跡の宝庫。明治13年(1880)、日本人技師のみで初めて施工、開通させた「旧逢坂山トンネル」をはじめ、一帯には明治・大正期の鉄道土木技術をしめす痕跡がいくつも残っています。

平成28年(2016)10月1日にリニューアルしたJR大津駅を探索して昔の大津駅の痕跡を見つけたあと、旧逢坂山トンネルをはじめ、明治・大正期に使用された大津-京都間の線路跡を散策してみましょう。

what's?

おおつひゃくちょう  
大津百町とは



京都方面から旧東海道の追分を東へ、逢坂山峠を越えて琵琶湖に向かって東西に広がるエリアを「大津百町」といいます。

大津百町の始まりは、安土桃山時代の天正14年(1586)頃に琵琶湖岸に大津城が築城され、城下町が誕生した頃まで遡ります。その後、江戸時代は琵琶湖水運の港町、東海道五十三次の宿場町、園城寺(三井寺)の門前町として栄え、人口密度の高い町が形成されました。江戸時代中期には町数が百ヶ町以上あったことから、その繁栄を表し「大津百町」と呼ばれるまでに発展しました。戦前までに建てられた伝統的な建築物や、隣接する京都の町家の影響を受けた大津町家など、歴史的な文化資源が現在も各所に残っている魅力的なエリアです。

制作

大津市中心市街地活性化協議会  
まちなかガイドプロジェクト会議

お問い合わせ

(株)まちづくり大津  
滋賀県大津市浜大津一丁目4番1号 旧大津公会堂2階  
[TEL] 077-523-5010



Let's try!

他にも様々なコースがあります

これまで開催して好評いただいた「大津まちあるき」を、ガイドなしでも楽しめるマップとしてまとめています。ぜひ他のコースも巡ってみてください。  
※まちあるきは自動車などに十分注意してください。

- 大津絵を探す・見る・食べる
- 大津の歴史と女性たち
- 大津百町でご朱印めぐり
- 江戸に帰って大津を歩く
- 大津に鉄道がやってきた頃
- まちなか歴史遺産散歩
- 大津町家めぐり
- 湖岸歴史散歩

今回ご紹介のコース



2017.9 発行

START

JR大津駅

## 大津に鉄道がやってきた頃

コースのおすすめ順路と見どころのご紹介

### ① 国道1号(東海道線路跡)

駅の南を走る国道1号は、大津-京都間の線路跡。駅南側から見る築堤は、運行当時の様子を想像させます。

9分 2分

### ② ねじりまんぼ(音羽台1号橋)

線路跡の下を貫くトンネルは、市内へと流れる吾妻川を通すためのも。線路に対し斜めに掘られたトンネルの強度を保つため、レンガがらせん状に積まれてねじれたように見えます。  
**交通量が多いので、見学はくれぐれも注意!!**

### ③ 旧東海道線の橋台

立派なレンガ積みの壁は旧東海道線の橋台。旧逢坂山トンネルと橋台の間に線路が通っていたことを想像させます。

2分

### ④ 旧逢坂山トンネル東口

向かって左が明治13年(1880)に開通したトンネル。上部の扁額には三条実美による「楽成頼功」の文字が刻まれています。右のトンネルは明治30年代の複線化で設置されたもの。

### ⑤ 旧上関寺駅

上関寺踏切の両側にあった京阪京津線の駅。大正元年の京津電気軌道の開業と同時に設置され、昭和46年(1971)に廃止されました。

3分

### ⑥ 関蟬丸神社下社の踏切

百人一首で有名な琵琶の名手、蟬丸をまつる神社。鳥居の目の前を横切る京阪電車の姿は絶好の撮影スポット。

2分

### ⑦ 京阪電車の跨線橋

大正10年(1921)の東海道線の線路付け替えにあわせて作られた京阪京津線との跨線橋。レンガで作られた橋は、堂々とした印象をうけます。

2分

JR大津駅

GOAL

大津市歴史博物館  
学芸員が  
ご紹介します!



# 大津百町まちあるきMAP

## 大津に鉄道がやってきた頃 コース

### 凡例

- 百町の国登録有形文化財
- 百町の近代建築物
- 百町の景観重要広告物
- 百町の展示施設
- 百町の見どころ
- 交差点名
- 旧町名
- 通り名
- 公共駐車場(有料)
- インフォメーション
- 旧東海道線

このあたりは、逢坂山の伏流水がわきだす湧水地帯。江戸時代から湧水を利用した川魚屋さんがいくつもありました。

トンネル内部は見学不可。機関車のすすがついたレンガ積みやひんやりとしたトンネルの風が感じられます。

### 旧逢坂山トンネル東口

### 京阪電車の跨線橋

### 関蟬丸神社下社の踏切

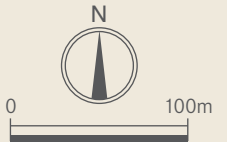
### 旧上関寺駅

### 旧東海道線の橋台

### 魚重産業株式会社

琵琶湖の鮮魚や加工食品をあつかうお店。脇を流れる吾妻川の水を取り入れた生けずがあります(見学不可)。鮎の甘露煮は、骨までやわらかく、お土産にもぴったり。

**info** 大津市逢坂1丁目12-21  
 [営業時間] 9:00-17:00  
 [定休日] 日曜、祝日  
 [TEL] 077-522-3175



## 大津の鉄道物語

### 旧逢坂山トンネル

旧逢坂山トンネルは、明治13年(1880)の大津～京都間の鉄道敷設にともない開削されました。外国人の力を借りず、日本人技師のみで施工した日本最初のトンネルとして知られ、大正10年(1921)まで、東海道線として利用されました。現在、西口は埋め立てられ、東口だけが残っています。全長664.8mのトンネルは、今ではとても短く感じられますが、明治時代の日本の鉄道土木技術の出発点となる、記念すべき工事でした。レンガ積みのトンネルを実際に見ると、その重みが伝わってくるようです。



### 大津駅のあゆみ

大津駅は当初、現在の場所にはありませんでした。最初の大津駅は、明治13年(1880)の大津～京都間の鉄道が開通したとき、現在の京阪電鉄浜大津駅あたりに設置されました。ちなみに大津駅から先は、長浜まで湖上を鉄道連絡船が結んでいました。その後、明治22年(1889)に東海道線が全通。大正2年(1913)に馬場駅(現在の膳所駅)の名が改称されます。これが2代目大津駅です。現在の大津駅は大正10年(1921)に、東海道線の大津～京都間のルートが変更された時、新たに設置された駅です。そのため大津駅の名の付いた駅舎としては3代目ということになります。当初の駅舎は木造建築で、今の駅舎の西寄りにありました。現在の大津駅舎が出来たのは、昭和50年(1975)のこと。平成28年(2016)にリニューアルされ、商業施設「VIERRA大津」が完成し、現在にいたります。